（裏面）

注意

1　この用紙は、受給者が養育（監護し、かつ、生計を同じくするか又は生計を維持することをいいます。以下同様です。）をする子ども（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいいます。）に異動があり、その結果、子ども手当の額が増額又は減額する場合に、その増額又は減額の原因となる子どもについて記入の上、提出してください。

なお、子ども手当の額が減額する場合は、「監護の有無」及び「生計関係」の欄は記入する必要がありません。

2　子どもが海外に留学している場合は、「海外留学をしている場合の出国年月」の欄に、いつから留学しているか（出国した年月）を記入してください。

3　「住所」の欄は、住民票上の住所を記入してください。

4　「生計関係」の欄は、次によって記入してください。

①　「同一」は、子どもが受給者自身の子である場合や受給者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、受給者がその子どもと生計を同じくしているときに○で囲んでください。

②　「維持」は、子どもが受給者自身の子でない場合で、受給者がその子どもの生計を維持しているときに○で囲んでください。

5　「増額した理由」の欄は、「ア」又は「イ」のいずれか該当するものを○で囲み、「イ」を○で囲んだ場合は、その理由を具体的に記入してください。

6　「減額した理由」の欄は、「ア」から「コ」までのいずれか該当するものを○で囲んでください。「コ」を○で囲んだ場合は、その理由を具体的に記入してください。（※「ク．里親等への委託又は児童福祉施設等への入所」については、委託又は入所が2月以内の期間を定めて行われたものである等一定の要件に該当する場合は該当せず、額改定届を提出する必要はありません。）

7　「事由の発生した年月日」の欄は、「5」又は「6」の事由の発生した年月日を記入してください。

8　この請求書には、子ども手当の額が増額する場合は、増額の原因となる子どもについて、次の書類を添えて提出してください。

①　子どもが他の市町村（特別区を含みます。）に住所を有する場合は、その子どもの属する世帯の全員の住民票の写し

②　子どもが海外に留学をしている場合は、当該子どもが日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き3年を超えて日本国内に住所を有し、教育を受けることを目的として外国に居住していることを明らかにすることができる書類

③　子どもが受給者自身の子であり、受給者がその子どもと別居している場合は、受給者のその子どもに対する養育の状況を明らかにすることができる書類

④　受給者が未成年後見人である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類

⑤　受給者が父母指定者である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類

⑥　子どもが受給者自身の子でない場合は、父母とその子どもとの養育関係及び受給者とその子どもとの養育関係を明らかにすることができる書類（受給者が未成年後見人又は父母指定者である場合を除く。）

⑦　生計を同じくしない配偶者等と別居し、子どもと同居している場合は、当該事実を明らかにすることができる書類

備考

1．必要があるときは、所要の変更又は調整を加えることができる。

2．受給資格者に周知することにより、注意事項を省略することができる。

様式第5号（第5条、第6条関係）

（表面）

子ども手当　額改定認定請求書 / 額　改　定　届　（施設等受給者用）

殿

提出年月日	※受付確認年月日
平成　・　・	平成　・　・

受給者	（ふりがな） 設置者等の氏名（法人名等）	㊞	職業	ア．被用者 イ．公務員 ウ．被用者等でない者	性別	男・女
					生年月日	明治・大正・昭和・平成　・　・
	施設等の名称		施設等の種類		設置者等の住所地（法人の主たる事務所の所在地）	〒　－ 電話　（　）
					施設等所在地又は住所地	〒　－ 電話　（　）

増額又は減額の別	増額・減額

増額又は減額の原因となる施設入所等子ども

氏名	生年月日	備考	※特定施設入所等子ども（該当者に○印）
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		
	平成　・　・		

増額した理由	ア．委託又は入所 イ．その他（　　）
減額した理由	ア．死亡した イ．委託解除された又は退所した ウ．その他　（　　）
事由の発生した年月日	平成　・　・

備考	※認定・改定・却下	※認定・改定・却下年月日	※認定・改定・却下年月日	※手当月額
		平成　・　・	平成　・　・	3歳未満分　円 3歳以上小学校修了前分　円 中学生分　円 計　円

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。
◎　※印の欄は、記入しないでください。
◎　字は、楷書（かいしょ）ではっきり書いてください。
◎　記名押印に代えて、署名することができます。

（日本工業規格A列4番）